

第6回クリーンセンター滋賀環境監視委員会 会議概要

1. 開催日時：平成18年7月19日（水）14：00～16：00
2. 開催場所：JV甲賀工事事務所
3. 出席者：出席委員数 13名／委員数 14名

委員

学識経験者：金谷委員

住民代表：中島（茂）委員、中島（常）委員、中邨委員、杉本委員、中島（仁）委員

事業者：中村委員、西坂委員

滋賀県：藤居委員

甲賀市：中山委員、辻委員、松山委員（代理：小倉）

環境事業公社：清水委員

事務局

（財）滋賀県環境事業公社



4. 議事概要

1) 平成18年度の工事計画について

平成18年度の工事計画および監視委員会の予定について、資料1および2により事務局から説明を行い、委員から次の意見等がありました。

【主な意見】

①工事の進捗状況における写真および経過を監視委員が見られないのを補うため公社の方でまとめ、記録を残していただきたい。

→各工事毎に現場の写真を撮っています。また、毎月神区に工程表と併せて写真を送付している他、地域の方には、処分場現地での作業状況の見学会を開催しています。

②遮水シートの工事をどの段階でどのように行うのか。

→遮水シートを張る工事は9月頃からの予定をしており、次回の監視委員会で確認していただく予定です。この他、神区の方も関心をお持ちです。工事の進捗に併せて現地見学会を実施することになっています。

③遮水シートなどの工事のポイントごとに、写真等の分かり易い内容でホームページにより公表することを検討して欲しい。

→現地で工事の進捗に併せて見ていただくのが判りやすいので、何回か現地視察を設けることで神区と約束しています。特に、工事後に見えなくなる部分は写真等で撮影してホームページで公開していきます。

④管理棟および受入システム整備では、受け入れた廃棄物が、三次元空間のどの部分に埋められたのかということ把握しておくことが大事であるから、具体的な内容を委員会で検討した方がよい。

→廃棄物のチェックは、受入管理に関して電子マニフェストを導入するとともに、電子データ化を図り、搬入された廃棄物が、いつ、何処に埋めたかが分かり、また、廃棄物を埋めた場所の沈下等を考慮して、目印となるダミーを埋めておくことも検討中で、コンピュータで見られるシステムを検討しており、その原案が出来た時点で監視委員会に報告していきたいと考えています。

2) 濁水対策の概要と環境監視の報告について

濁水対策の概要と環境監視の報告について、資料3をもとに事務局から説明を行い、委員から次の意見がありました。

【主な意見】

①凝集沈殿と言われたが、重金属を処理するのか。

→重金属を目的としていません。濁りを処理するため、非常に細かい粒子が含まれていてこれが沈殿しないので、凝集剤を入れて懸濁物質を除去しています。

②大山橋は、上流側になるのか。

→大山橋は、次郎九郎川と田村川が合流した下流にあります。

③透視度1.6cmのときのSS濃度は判らないのか。

→このときは、調整池の掘削工事がされていました。SSは測定してごさいませんでしたでしたが、他の研究機関で調査されたデータによると、場所が違うので参考数値ですが透視度1.6cmの場合にSS708mg/リットルとなります。今後、追加して透視度の低いときのデータを採取して確認します。

④工事中の濁度対策は、環境アセスでどのように予測していたのか。濁水の目標値をどのようにしているのか。

→環境アセスの予測評価を目標に対策を進めており、アセスでは、工事現場で沈砂池を設けて沈殿させてから、調整池を通して流す計画になっています。降雨量が20mm/日の場合と150mm/日の場合を予測しており、その予測値を目途に清水と濁水が混合しないように雨水排水路を設けるほか、造成裸地面は土工事の終了後速やかに種子吹き付け等により環境影響の低減を図るよう努めています。

⑤先日のように沢山雨が降った時は、どのような対策を取るのか。

→出水時は、工事現場毎に沈砂池を設けて沈殿させた後、防災調整池に集めて更に沈殿させてから排出する対策を講じています。

⑥凝集剤の添加量の変化と効果はどのようになっているか。

→水質によって変動しますが、今回の濁水処理設備は、コンクリート工事の処

理時の pH11 くらいの水質の水が出て、それを炭酸ガスで中和します。その後、pH をみながら凝集剤の入れる量を変えています。

3) 工事の進捗状況の確認について

工事の進捗状況の確認について、現地を見学しながら事務局から説明を行い、委員から次の意見がありました。

【主な意見】

①現在の工事の中で、連続地中壁というのは、貯留構造物（ダム）の基盤を整備した下に出来上がってくるのか。

→連続地中壁について、中間のダムの部分はダム工事が終わってから工事をすすめる計画であり、その部分を除き出来ています。

②工事が26%完了というのは、具体的に何に対しての率であるのか。

→工事費ベースでの26%と言う意味です。

③漏水検知システムを導入するが、遮水シートの下に這わさないといけないが、遮水シート工事の前に写真など撮る予定をしているのか。

→検知システムは、遮水シートで隠れることになります。浸出水貯留部と浸出水非貯留部の平面部に遮水シートを設置しますが、遮水シートは斜面から張りはじめ、来年3月以降に平面部の工事を行う計画で、写真等を撮る予定です。その工事の際には、監視委員会や地元の皆さんに現地で見学していただく予定です。

④漏水検知システムが、正常な作動をすることをシステム設置の都度、試験を行うのか。

→通電しながらシステムが作動するかのチェックを行うこととしています。



5. その他

①昨年滋賀県環境管理課に提出した、生物関係の環境対策

の報告書を見せてもらいたい。生物以外のものも含め、今年の計画を次回の監視委員会で提示してもらいたい。

→昨年度の生物調査等の報告書は現在整理中で、まとまり次第縦覧の手続きを取り、監視委員会に報告します。